

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

○ ESDカレンダーの作成と各学年での取り組み

本校の教育課程に基づいた ESD カレンダー（教科領域と「持続可能な社会づくり」の6つの構成概念、ESDの視点に立った学習指導で重視する7つの能力・態度）を作成し、学年の取り組みを進めました。

構成概念（Ⅰ多様性 Ⅱ相互性 Ⅲ有限性 Ⅳ公平性 Ⅴ連携性
Ⅵ責任性）

7つの能力・態度（①批判的に考える力 ②未来像を予測して計画を立てる力 ③多面的、総合的に考える力 ④コミュニケーションを行う力 ⑤他者と協力する力 ⑥つながりを尊重する態度 ⑦進んで参加する態度）

例) 2年 5月 国語「ていねいにかんさつして、きろくしよう」

生活科「生きもの大すき」(Ⅵ・④⑤⑦)、

「おおきなあれわたしの野さい」(Ⅵ・⑥)

来年度以降も、地球規模の問題や人権主義の理解、国際理解教育、環境教育などをテーマにした学習に取り組み、自発的に行動する子どもたちを育てていきたいと思えます。

○ ふるさとを知り、人とふれあう「東っ子学習」

総合的な学習の時間を活用して、4～6年で『地域「ふるさと」』・『交流「ふれあい」』の二本柱を軸にすえ、「生きる力を備えた心豊かで思いやりのある子どもの育成」を目指して活動を展開しています。また、1・2年では生活科の授業において、地域の人々とのふれあいを計画的に設定し活動しました。

1、2年…昔遊び体験や製作活動の交流学習

3年…地域の人・もの・ことを素材とした学習（そば打ち体験、地域施設体験等）、「菜の花プロジェクト」を通じた「循環型資源活用社会」の学習（4年に継続）

4年…地域の生活の源である江花川を題材に、水中生物の調査を中心とした環境学習

5、6年…ふるさとの産業（農業）、環境、歴史についての課題追求学習「ビオトープを活用した米作り」「長沼の歴史（金魚ねぶた制作）」

- ・ 6月、講師の先生をお招きして、ユネスコスクールへの取り組み方について研修会を行いました。
- ・ 11月、第48回全国小中学校環境教育研究大会に参加しました。

○ ユネスコ世界寺子屋募金活動への参加

2月、須賀川地方ユネスコ協会へ、募金と書き損じはがきを寄付しました。児童会の運営委員会が中心となり、全校集会で日本ユネスコ協会が行っている運動の趣旨（「全ての人に教育を」の願いのもと、世界寺子屋運動募金を展開し、読み書きのできない子どもや大人に、教育の機会である「学びの場（寺子屋）」を提供するための活動）を説明し募金を呼びかけ、昨年12月から1月まで各教室を回り集めました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）